



川西町・三宅町式下中学校組合立
式下中学校

「学校通信」 Believe (ビリーブ)
—令和2年度第13号—

令和2年10月12日発行 文責 中本克広

体育大会スローガン決定
(生徒会考案)

Yo!!体育大会!
みなさん期待!
ディスタンス絶対!
3年引退!
後輩に交代!

人権作文発表会について

9月30日(水)5限に実施した、「人権作文発表会」では、各学年代表2名計6名の意見発表がありました。発表会の司会進行・運営は、生徒会役員さんが行ってくれました。発表内容の一部を紹介します。

1年 S. Sさん 『みんなちがってみんないい』

重度の障害を抱える親戚のおばさんとのふれあい。おばさんとごく自然にふれあう様子が想像できて、聞きながら胸が熱くなりました。おばさんの姿と、金子みすゞさんの詩「私と小鳥と鈴と」の一節「みんなちがってみんないい」が重なるといふ感性にも感心しました。

1年 T. R君 『真実そしてこれからの人生』

自分自身の視野、光の感じ方、見え方について教えてくれました。眼鏡を処方してもらって初めて見えてくる本当の世界があった。薬や補正器具では改善や回復できない生きづらさを抱えている人にも思いをはせながら、自分自身と向き合っていきたいと力強く語ってくれました。

2年 M. Yさん 『幸せに暮らすこと』

一部の授業で、みんなとは違う内容で、ゆっくりとしたペースで学んでいることを伝えてくれました。その授業でもがんばることができるので楽しいし、周りの人が、よく分かって接してくれることが、私にとって、学校生活を「幸せに暮らすこと」につながっていると述べてくれました。

2年 O. Mさん 『いじめじゃないいじめ』

自分がされて苦しかった経験、それと同じことをしてしまった自分と真剣に向き合っています。気づかせてくれたのは、しんどいときの自分を支えてくれた人。いじめというものについて考えた今、意図的であってもなかっても、自分のとる言葉や態度で人は深く傷つくことがあるということをお忘れず、これからの生活を送っていきたいと述べてくれました。

3年 M. K君 『LGBTについて』

多様な性のあり方についての理解面で、私たちが立ち後れてしまっている部分について、お母さんから聞いたことをきっかけに、発表してくれました。「集団の中で、誰にも相談できない性についての悩みを抱えている人がいるかもしれない。もし、友達から相談を受けたら、自分らしく生きる権利を大切にしてほしいし、冷やかしたり、バカにしたりせず、力になりたい。」と、私たちが理解者になっていくことが大事だと教えてくれました。

3年 I. Yさん 『最後まで自分らしく』

肺がんを患われた祖父がホスピスで、末期がん患者として、最期まで明るく生き抜かれたエピソードを語ってくれました。面会に行ったときの祖父との会話が、今なおIさんの心に残り続けています。自分の意志をもって、どんなときも自分らしく生きていくことの大切さ、祖父との面会や祖父の一生を通じて感じたことを私たちに伝えてくれました。



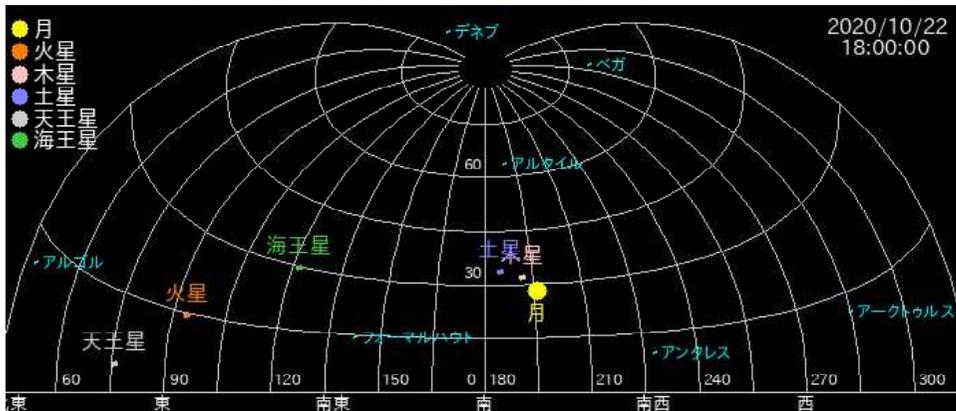
放送室の入口から、発表生徒の様子を見守っていましたが、一人一人の発表が終わるごとに、1階から3階の各教室から大きな拍手が聞こえてきて、そのあたたかい拍手にも感動しました。

体育館と違って、聞いている人の姿が直接見えないからこそ、各学級のみなさんは、耳と目と心で聞いてくれました。相手の立場や周りのなかまの心情を想像することが、人権を大切にする行動につながっていくと思います。発表者と聞き手のみなさんとの間に、心の中での対話がなされたことをうれしく思います。「いのち・愛・人権」に関すること、これからも何よりも大切にしていきたいと思います。

生徒会役員さんも、運営面で役割を果たしてくれたこと、うれしく思います。

月と火星

10月1日（木）、仲秋の名月の夜、月の横に火星が見えました。地球の隣の惑星です。月はもちろん美しかったです、その隣で明るく輝く火星にも見入ってしまいました。今月は、火星だけでなく木星も土星も見えるようです。夜も晴れるといいですね。



奈良
2020年10月22日（木）
18時頃

22日(木)の夕方から宵にかけて、南から南西の空で月齢6の上弦前の半月と木星が接近して見えます。月と木星の左上には土星もあり、明るい3天体が集まっている光景が楽しめます。20時から21時頃にはかなり低くなってしまいますので、空が暗くなったら早めに観察するのが良さそうです。月は翌日に土星と接近します。(「ウエザーニュース」より)

磯城地区保護司会あいさつ運動

10月6日(火)、磯城地区保護司会の方々が今年度第1回目のあいさつ運動にきてくださいました。力強い励ましのあいさつの声をかけていただき、生徒のみなさんからも、笑顔と気持ちのよい返事が返ってきていました。今後も月に2回火曜日に来校くださいます。



今日は、8:25に教室に入れていない人がいました。朝から走って教室に行くよりも、ゆっくりと落ち着けるペースで、始業を迎えることができるといいですね。あわてると事故のもとです。時間的に少し余裕をもった行動を心がけましょう。

文化鑑賞講演会～『あきらめない心』～

今年は、例年どおりということがほとんどできない中で、そして、張り詰めた精神状態での生活が続く中で、学校として何ができるかを模索してきました。感染症対策を施しながらも、授業だけでなく、人生の勉強ができる人との出会いの機会もつくれたらと思っていました。そうして、多くの皆様の御尽力で、10月8日(木)、川西文化会館コスモスホールにて、世界的ジャグリングパフォーマーのちゃんへん.さんをお招きして、文化鑑賞講演会を学年別という形で開催することができました。

瞬きすることを忘れるくらいのジャグリングパフォーマンス。ギネス級の技で圧倒され、特にディアボロは圧巻でした。そして、ちゃんへんさん.のすごしてこられた小中学校時代、家族のみなさんについてのエピソード、魂のこもった感動的なラップ、それら、ちゃんへん.さんからの渾身のメッセージによって、私たちの心に、あきらめない心と希望の種をまいていただいたと思います。生徒のみなさんも、それぞれに大切な何かを感じ取ってくれたことでしょう。

ちゃんへん.さんを紹介するパンフレットにこんな一節がありました。

—「Ghost Blues に寄せて」より—

自分が日々何気なく好きなことを弊害無く出来る凄さや、追いたい夢を追える凄さ。家族が居る凄さ、友達がいる凄さ、帰るべき場所や自分の居場所がある凄さなど、こういった当たり前を僕にプレゼントしてくれたのは、紛れも無い先祖たちである。僕は、『当たり前』の対義語は『感謝』だと真剣に思っている。どんな素晴らしい目標を持つが、どんなに素晴らしい夢を持つが、その日々が当たり前になってしまったらいけないのではないだろうか。当たり前の前に感謝すべきことがたくさん溢れていることに気づけるように、この『Ghost Blues』に総てを込めました。先祖が当たり前に来出来なかったことを感謝しながら出来るようになりたい。

ジャグリングを海外で学びたいという夢を認め、背中を押してくれた祖父。そして、あの日、私たちを夢のような世界へと誘い、心を揺さぶってくださったちゃんへん.さんへ、

ハラボジの思いは確実に受け継がれていると感じました。
今後のちゃんへん、さんのさらなる御活躍を式下中学校から応援しています。



2学期中間テスト間近

10月19日(月)、20日(火)に行われる2学期の中間テストが間近にせまっています。これまでに習ったところの復習に取り組みましょう。目標は、前回の自分の記録です。誰かと比較するのではなく、これまでの自分を超越することを目指してください。限られた時間を有効に使って、準備を進めましょう。そして、来週の質問教室で聞く内容を決めておきましょう。

ここからの体調管理も大切です。雨が降ったり、急に冷え込んだりしますので、風邪をひかないように、十分に気をつけましょう。努力の成果を発揮してくれることを期待しています。

体育大会について

10月29日(木)実施予定の体育大会の観覧は、**3年生の保護者の方(各家庭1名)のみ**可とし、かつ、事前申し込み制とさせていただきます。感染症対策については、日々、気を緩めることができない状況ですので、このたびの対応について、どうか御理解をお願いいたします。撮影された写真や動画は、くれぐれも家庭内での視聴のみとしてください。当日、観覧できなかった皆様には、12月の三者懇談期間中、文化作品展示会場で、映像(スライドショー)として流しますので、御鑑賞ください。

子どもが水筒を忘れたら



最近も、おうちの方が学校に水筒を届けてくださることが何度かありました。お子様が水筒を忘れていったことに気づかれたら、御心配されることでしょうか。届けたくても届けられない事情もおありだと思います。そんなときのために、ある保護者の方が、紙コップとビニール袋を寄付してくださいました。有難く活用させていただきたいと思います。困ったときには、紙コップを使って、ウォータークーラーを利用してもらいます。生徒のみなさんは、「水筒を忘れました。」と気軽に近くの先生に声をかけてください。

